

研究課題名	FDG-PET/CT における深層学習を用いた画像再構成法の有用性に関する研究
研究期間	実施許可日 ~ 2027年 3月 31日
研究の対象	2022年3月~2025年12月の間に広島大学病院で既知の悪性腫瘍あるいは悪性腫瘍の疑いでPET/CT検査を受けられる方
研究の目的・方法	研究目的：人工知能（深層学習）を用いた新しい画像を作成する技術によって、患者さんの被ばくが減らせるか、あるいは検査時間を短縮できるかを明らかにすることです。 研究の方法：研究対象者のPET/CT画像、PET/CT検査に付随した情報および診療録（カルテ）内にあるデータを使用し、人工知能を用いた画像作成法の有用性を検証します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：PET/CT画像、年齢、性別、身長、体重、BMI、血糖値、FDG投与量、診断名、鎮静状態等
外部への試料・情報の提供	ありません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科放射線診断学研究室 教授 栗井和夫
その他	本研究では、キャノンメディカルシステムズ社との共同研究講座所属の教員が研究担当者として参加し、共同研究講座の研究費を使用します。共同研究講座においてキャノンメディカルシステムズ株式会社と事前に共同研究契約を締結し、共同研究費の提供を受けていますが、本研究においてキャノンメディカルシステムズ株式会社が研究に携わる事は無いため、研究の実施や解析、結果の解釈に影響を及ぼすことはありません。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や

研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 診療支援部 画像診断部門

担当者：秋田隆司

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5560